

瘠我慢の説

書簡

福沢諭吉

青空文庫

福沢先生の手簡

はいけいつかまつりそうろうのぶれ
拜啓 仕 候 陳ば過日 瘠我慢之説 と題したる草稿
一冊を呈し候。或は御一読も被成下候哉。其節申上
候通り、何れ是は時節を見計、世に公にする積に候得共、
尚熟考 仕 候 に、書中或は事実の間違は 有之間敷哉、
又は立論之旨に付御意見は 有之間敷哉、若しこれあらば無
御伏臈 被仰聞 被下度、小生の本心は漫に他を攻撃して楽
しむものにあらず、唯多年来心に 釈 然 たらざるものを記し
て輿論に質し、天下後世の爲めにせんとするまでの事なれば、当

局の御本人に於ておい云々の御説もあらばは拜承致し度、何卒
 おんもらねがいたてまつりそうろう。要用のみ重かさねて申上候。匆々頓首。

二月五日

諭吉

………様

尚な以彼の草稿そうこうは極秘ごくひに致し置、今日に至るまで二、三親友の

外へは誰れにも見せ不もうさ申候。是亦乍序申上候。

以上。

勝安芳氏の答書

いにしえよりとうろしや
 従古当路者古今一世之人物にあらざれば、衆賢之批
 評に当る者あらず。不計も拙老先年之行為に於て御議論数
 百言御指摘、実に慙愧に不堪」の注記」ず、御深志忝存候。
 こうぞう
 行蔵は我に存す、毀誉は他人の主張、我に与からず我に関せ
 ずと存候。各人へ御示御座候とも毛頭異存無之候。御差
 しこしのごそうこう
 越之御草稿は拝受いたし度、御許容可被下候也。

二月六日

安芳

福沢先生

拙、此程より所勞平臥中、筆を採るに懶く、乱筆蒙御
海容度候。

榎本武揚氏の答書

拜復。過日御示被下候貴著瘡我慢中、事實相違之廉並
おしめし くださねうろう
 に小生之所見もあらば云々との御意致拝承候。昨今別
しょうせいのしよけん つき
 而多忙に付いずれ其中愚見可申述候。先は不取敢回
つしてたぼう
 音んかくのごとく 此に候也。

二月五日

武揚

福沢諭吉様

青空文庫情報

底本：「明治十年丁丑公論・瘠我慢の説」講談社学術文庫、講談社

1985（昭和60）年3月10日第1刷発行

1998（平成10）年2月20日第10刷発行

底本の親本：「明治十年丁丑公論・瘠我慢の説」時事新報社

1901（明治34）年5月2日発行

初出：「明治十年丁丑公論・瘠我慢の説」時事新報社

1901（明治34）年5月2日発行

※副題の「書簡」は、このファイル作成時に付けたものです。

※誤り箇所は底本の親本にて確認しました。

※「福沢先生の手簡」の末尾、「申上候《もうしあげそうろう》
以上。」は、底本の親本では、「申上候也。」となっています。

入力・kazuishi

校正：田中哲郎

2006年11月7日作成

青空文庫作成ファイル：

このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫 (<http://www.w.aozora.gr.jp/>) で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

説の我慢我瘠

書簡

2020年 7月13日 初版

奥付

発行 青空文庫
著者 福沢諭吉
URL <http://www.aozora.gr.jp/>
E-Mail info@aozora.gr.jp
作成 青空ヘルパー 赤鬼@BFSU
URL <http://aozora.xisang.top/>
BiliBili <https://space.bilibili.com/10060483>

Special Thanks

青空文庫 威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー <http://aohelp.club/>
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。
<http://tokimi.sylphid.jp/>